

2021年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493500217	事業の開始年月日	平成25年4月1日
		指定年月日	平成25年4月1日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	ちいさな手花咲く街横浜こすがや		
所在地	(247-0007) 横浜市栄区小菅ヶ谷1-27-5		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	26名 ユニット数 3 ユニット
自己評価作成日	令和3年11月1日	評価結果 市町村受理日	令和4年3月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活上の世話と機能訓練を行い、能力に応じた日常生活を送る事。 ・理念運営→当社に関わる全ての方が幸せになれるように日々の業務を行う。 ・リーダーの育成（管理者が不在の際でも安心して任せられる人材を育成） ・人間性、社会性の追求を行い、「丁寧な言葉遣い」「しっかりした挨拶」を行う。 ・職員間の思いやりが強い、今年度に関しては離職者は0人（11月19日現在） <p>※令和3年10月1日より3ユニットがオープンしました。今回は2ユニットのみとなっています。</p>
--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和4年1月24日	評価機関 評価決定日	令和4年3月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所はJR京浜東北・根岸線の「本郷台」駅から徒歩約10分の閑静な住宅街に立地しています。令和3年10月に併設されていた小規模多機能居宅介護事業所をグループホームに変更した3ユニットのグループホームです。</p> <p><優れている点> 法人は医療介護のあるべき企業理念と心のこもった快適なサービスを提供する介護理念が明確に示されています。この理念に沿って、職員は入居者の立場に立ったサービスの提供に努め、感謝の気持ちを忘れないように心掛けています。ミーティング終了時には庭園の野菜畑や草花の水やり、草取りを行い、入居者の園芸療法の活用を支援し、職員は日頃より整理・整頓・清掃・清潔・しつけの5Sに取り組んでいます。</p> <p>医療面では主治医と訪問看護師が連携し、安心して受診や健康相談ができる体制にあります。終末期に向けた対応は主治医と看護師、家族や介護職員が話し合い、入居者が慣れ親しんだ事業所で安心して看取り介護を受けることができるような支援に取り組み、看取り介護の経験もあります。</p> <p><工夫点> 新型コロナウイルス感染予防対策により、家族の来訪が難しいため、毎月「こすがや新聞」と手紙を添えて入居者の健康状態や日常生活の様子を知らせて家族の安心につなげています。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ちいさな手花咲く街横浜こすがや
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念に関して、毎朝読み合わせを行い、理念に関わる機会を設けています。	法人の企業理念と介護理念を行動指針としています。これに併せて常に入居者に敬意を払い、心のこもった快適なサービスの提供を心掛けています。職員はクレドカードを携帯し、毎朝理念を唱和し、共有して実践につなげています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウイルスの影響で交流出来ていない。	町内会に加入し、正月には地元の神社へ初詣に行き、地域の祭りに出掛けて交流しています。クリスマスには近くの教会の人や保育園児と歌と踊りを一緒に楽しみ、傾聴ボランティアも来訪しています。現在はコロナ禍のため中止しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナウイルスの影響で貢献が難しい状態。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現状、郵送のみでの対応する。	運営推進会議は栄区役所高齢支援課、小菅ヶ谷ケアプラザ職員、入居者家族をメンバーとし2ヶ月に1回開催しています。会議では事業所の入居者状況や活動報告を行い、意見交換をして運営に活かしています。現在はコロナ禍のため書面資料を送付しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	栄区内のケアプラザに挨拶回りをを行い対応する。	栄区高齢支援課や小菅ヶ谷地域ケアプラザに入居者状況などを報告し相談をしています。介護保険の更新手続きや立会いを家族に代わり行っています。行政主催の研修会を受講し、地域情報を得ています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束勉強会を定期的に行っており、御家族様に不快な思いをさせないようにケアに取り組んでいきたいと思っております。	身体拘束委員会があり、3ヶ月に1回管理者と職員が話し合いを行い、正しい理解に努めています。管理者は、職員の入居者に対する言葉の拘束についても留意に努めています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待については、少人数ミーティングを行い勉強会を実施しています。	虐待防止については、マニュアルを整備しています。身体拘束委員会と同時に3ヶ月に1回勉強会も行い正しい理解に努めています。高齢者に対する挨拶や声かけに留意し、共感を得られるように努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度についての勉強会が実施できていない為、実施出来るように努めて参ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	時間を掛けて読み合わせを行っています。説明に納得して頂いたら、説明承諾書にサインを頂いています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を置き、ご意見を頂く機会を設けています。	毎月、こすがや新聞と入居者の生活状況などの手紙を送っています。家族より健康上の急変時の対応や往診医との連携について相談があります。家族の来訪時には意見や要望を聞いていますが、現在はコロナ禍のため、対面での面会や立会いは自粛しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝の朝礼やミーティング、時には、個別で意見や提案を聞く機会を設けています。	管理者は朝・夕の申し送り時に職員の要望や意見を聞き業務に反映しています。職員から、介護人員をなるべく減らさないで欲しいという要望があり、検討しています。法人担当役員が巡回時に職員の要望や提案を聞き、事業に反映しています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年一回の1泊での研修や毎月行われるトップマネジメント会議を代表者が行い、我々管理者とコミュニケーションを図り、リーダーシップなどの勉強会を通して自己成長を与えて頂く環境を築いて頂いている。	管理者は年1回、管理者としての人間性やチームワークの1泊研修を受講しています。また、1ヶ月に1回開催されるトップマネジメント会議においても、リーダーシップのあり方を学び、良好な人間関係や職場の環境整備に努めています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	実務者研修、マネジメント研修に参加して頂きスキルを上げる機会を設ける	法人は新入職員研修や実務者研修、管理者研修を行い職員の人材育成に努めています。事業所は年間の勉強会・研修会の予定表を作成し、人間性・社会性の追求を主体に身体拘束廃止や消防訓練などの研修を実施しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナ時期な為、リモート対応となる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	スタッフ間で連携を図り、情報共有、問題点、報告、連絡、相談を行い関係性を高めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居相談時に御家族様の要望や困っている事を伺いながら御家族様に安心して頂ける関係作りを設ける。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人様、御家族様の意向を伺い、出来る範囲での対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	関係性を重視し、出来る範囲でお手伝いをして頂き、支え、支えられる関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様に御協力を頂きながら、ご本人様の支援を行っています。（落ち着きが見られない際対応やホームの近況報告行う。）		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様に御協力頂きながら対応しています。	入居者は家族と馴染みの店へ買い物や外食に行き、市民の憩いの場に軽食や買い物に行く利用者もいます。現在はコロナ禍のため自粛しています。年賀状が届く人もいますが、返信は却って混乱をきたすことを考慮し控めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	席決めに配慮、日頃のレクリエーション時などに交流し、孤立しない支援を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	出来る範囲で対応を行う。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人様の声や御家族様の声を聞きながらスタッフ間連携し、対応していきます。	入居前に自宅や病院などを訪問して、生活歴や住環境を確認しています。入居後は、6ヶ月ごとの介護計画の見直し時に、職員が、やりたい事、介護して欲しい事、楽しい事などを利用者から聞き取り「私をわかってシート」を作成してケアに活かしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に御家族様から生活スタイルや趣味を伺い、スタッフ間で統一し、ケアを行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	申し送りが入居者様状況を把握し、体調面に不安がある際は、主治医、看護師と連携を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人様、御家族様、看護師、介護スタッフの意見をお聞きし、介護計画書の作成を行っています。	介護計画は、アセスメントとモニタリングを基に職員でカンファレンスを行い、利用者や家族の要望と医療関係者の意見を反映して長期目標6ヶ月、短期目標3ヶ月で作成しています。モニタリングは計画作成担当者が居室担当者などの意見も聞いて行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	御本人様の様子を把握し、特記事項がある際は、記録に残し見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	チームケアに取り組んでいます。御家族様にもケアの手伝いをして頂きながら、医療機関などとも連携しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源を活用しようとした中でのコロナが猛威をふるってしまった為、現在は、中々難しい状態です。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月二回の訪問診療を実施し、体調面のチェックを行っています。又、個別の受診に関しては、御家族様に御願っています。	利用者全員が協力医療機関（内科）をかかりつけ医とし、月2回の訪問診療を受診しています。整形外科など専門医への通院は、原則として家族が付き添っています。訪問診療や通院の結果は、職員の看護師が「医療連携日誌」に記載して、職員間で情報共有しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者様の変化、体調確認はスタッフ間で共有し、看護師に報告し、適切な処置を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された方に関しては、医療機関と定期的に連携を図らせて頂き、状況の把握に努めています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期に主治医、看護師、介護職員、御家族様と連携し、チームケアとして取り組んでいます。	入居契約時に「終末期医療・重度化した場合における看取りの指針」を説明し「看取り介護についての同意書」で同意を得ています。看取りは、家族の同意を得たうえで「看取り介護計画書」を作成し、職員、家族、医療関係者が連携して支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応として、ミーティング時や申し送り時に定期的に対応しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルの見直しや計画的な訓練の実施に取り組んでいます。	夜間想定訓練を含め、避難訓練を年2回実施しています。また、年1回消防署が立ち会い、指導を受けています。災害用備蓄品は、リストを作成し食料、飲料水を1週間程度確保しています。	災害に備えて、地域住民との協力体制の構築が期待されます。また、災害用備品のリストの定期的な見直しも期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自尊心を傷付けないように対応しています。	管理者は「丁寧な言葉遣い」「しっかりした挨拶」の定着を大切に思い取り組んでいます。利用者は「さん」付けで呼んでいます。記録は利用者名ではなく、イニシャルで記載しています。フロアで記録する際は、周辺に十分配慮して行っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	定期的に御本人様の希望を聞き、時間を作り介護計画書に繋げております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々のケアを振り返りながら業務に行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	御本人様に選んで頂いた洋服や、汚れてしまった服に関しては、すぐに取り換え、清潔感に努めています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材レクを定期的に行えるように対応する。	献立と食材は外部業者へ委託し、職員が調理しています。おやつも提供しています。利用者は役割を持ちテーブル・食器拭きを手伝っています。きざみやソフトなどの形態食にも対応しています。食事レクリエーションとして、敬老の日にたこ焼きパーティーも行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分摂取量（1日の摂取量）を把握し、一人一人の支援を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	一日3回の口腔ケアを行っています。 週1回の訪問歯科との連携を図り対応しています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を確認し、排泄のリズムを掴み、排泄介助や排泄の声掛けを行う。	排泄チェック表を活用し排泄パターンや特徴を把握し、利用者の様子や仕草を基にトイレ誘導しています。誘導の際は小声で話しかけるなど羞恥心に配慮しています。夜間は、清潔の保持を前提に睡眠優先や定時誘導など個人の特性に合わせた支援を行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	看護師との連携を図り、医療面と連携を図り、便秘に注意を行い対応しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	個々に応じた入浴対応は、難しい状態です。入浴の際は、ゆっくりと楽しんで頂けるように対応しています。	週2回午前中の中の入浴を基本としています。リフト浴があり、車いすの利用者でも湯船につかることができます。入浴を好まない利用者には、時間・曜日の変更や声掛けで対応しています。体調の悪い利用者は、シャワー浴や足浴、清拭で対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	御本人様ペースで過ごして頂けるように対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局の薬剤指導をして頂き、その薬剤指導して頂いた事を職員で把握に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	役割提供やレクリエーション、体操を生活の中で取り組んでいます。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナの影響で実施出来ていません。緊急事態宣言後からは、制限付きの面会を行っています。	日常的な外出支援として、近隣の川沿いの散歩コースに出かけています。現在はコロナ禍のため自粛していますが、庭やウッドデッキでの外気浴や簡単な運動をしています。事業所内での体操も増やすなどの工夫をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	コロナの影響で外出の機会は減っております。コロナの状況によって今後の支援も変わってくると考えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	コロナの影響で電話対応を行っています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	5 s 活動に取り組んでいます。御入居者様に気持ちの良い環境で過ごして頂けるように対応しています。	日当たりが良く明るいリビングになっています。1階には、庭に直接出られるウッドデッキもあり、利用者が外気浴やお茶会などを楽しんでいます。玄関、リビングや廊下には、家族の同意を得て、カメラを設置してモニターで安全確認できるようにしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席の配置に工夫しています。無理強いをしないように生活環境に取り組んでいます。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	御本人様が入居前に使用していた物をホームに持って来て頂き、愛直ある物と生活を共にして頂いています。	ベッド、エアコン、照明、カーテンなどが備え付けになっています。タンス、テレビ、時計、位牌、家族のメッセージなどの馴染みの品や思い出の品を持ち込み、個性豊かな居室になっています。安全対策として、離床センサーを設置している利用者もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーや手摺りなど安全な環境に配慮しています。		

事業所名	ちいさな手花咲く街横浜こすがや
ユニット名	2F

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念に関して、毎朝読み合わせを行い、理念に関わる機会を設けています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナウィルスの影響で交流出来ていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナウィルスの影響で貢献が難しい状態。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現状、郵送のみでの対応する。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	栄区内のケアプラザに挨拶回りをを行い対応する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束勉強会を定期的に行っており ます。御家族様に不快な思いをさせない ようにケアに取り組んでいきたいと思 います。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待については、少人数ミーティング を行い勉強会を実施しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度についての勉強会が実施 できていない為、実施出来るように努 めて参ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	時間を掛けて読み合わせを行ってい ます。説明に納得して頂いたら、説明承 諾書にサインを頂いています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を置き、ご意見を頂く機 会を設けています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝の朝礼やミーティング、時には、個別で意見や提案を聞く機会を設けています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年一回の1泊での研修や毎月行われるトップマネジメント会議を代表者が行い、我々管理者とコミュニケーションを図り、リーダーシップなどの勉強会を通して自己成長を与えて頂く環境を築いて頂いている。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	実務者研修、マネジメント研修に参加して頂きスキルを上げる機会を設ける		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナ時期な為、リモート対応となる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	スタッフ間で連携を図り、情報共有、問題点、報告、連絡、相談を行い関係性を高めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居相談時に御家族様の要望や困っている事を伺いながら御家族様に安心して頂ける関係作りを設ける。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人様、御家族様の意向を伺い、出来る範囲での対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	関係性を重視し、出来る範囲でお手伝いをして頂き、支え、支えられる関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様に御協力を頂きながら、ご本人様の支援を行っています。（落ち着きが見られない際対応やホームの近況報告行う。）		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	御家族様に御協力頂きながら対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	席決めに配慮、日頃のレクリエーション時などに交流し、孤立しない支援を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	出来る範囲で対応を行う。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人様の声や御家族様の声を聞きながらスタッフ間連携し、対応していきます。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に御家族様から生活スタイルや趣味を伺い、スタッフ間で統一し、ケアを行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	申し送りでご入居者様状況を把握し、体調面に不安がある際は、主治医、看護師と連携を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人様、御家族様、看護師、介護スタッフの意見をお聞きし、介護計画書の作成を行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	御本人様の様子を把握し、特記事項がある際は、記録に残し見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	チームケアに取り組んでいます。御家族様にもケアの手伝いをして頂きながら、医療機関などとも連携しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源を活用しようとした中でのコロナが猛威をふるってしまった為、現在は、中々難しい状態です。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月二回の訪問診療を実施し、体調面のチェックを行っています。又、個別の受診に関しては、御家族様に御願っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者様の変化、体調確認はスタッフ間で共有し、看護師に報告し、適切な処置を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された方に関しては、医療機関と定期的に連携を図らせて頂き、状況の把握に努めています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期に主治医、看護師、介護職員、御家族様と連携し、チームケアとして取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応として、ミーティング時や申し送り時に定期的に対応しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルの見直しや計画的な訓練の実施に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自尊心を傷付けないように対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	定期的に御本人様の希望を聞き、時間を作り介護計画書に繋げております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々のケアを振り返りながら業務に行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	御本人様に選んで頂いた洋服や、汚れてしまった服に関しては、すぐに取り換え、清潔感に努めています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材レクを定期的に行えるように対応する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分摂取量（1日の摂取量）を把握し、一人一人の支援を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	一日3回の口腔ケアを行っています。 週1回の訪問歯科との連携を図り対応しています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を確認し、排泄のリズムを掴み、排泄介助や排泄の声掛けを行う。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	看護師との連携を図り、医療面と連携を図り、便秘に注意を行い対応しています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	個々に応じた入浴対応は、難しい状態です。入浴の際は、ゆっくりと楽しんで頂けるように対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	御本人様ペースで過ごして頂けるように対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局の薬剤指導をして頂き、その薬剤指導して頂いた事を職員で把握に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	役割提供やレクリエーション、体操を生活の中で取り組んでいます。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナの影響で実施出来ていません。緊急事態宣言後からは、制限付きの面会を行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	コロナの影響で外出の機会は減っております。コロナの状況によって今後の支援も変わってくると考えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	コロナの影響で電話対応を行っています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	5 s 活動に取り組んでいます。御入居者様に気持ちの良い環境で過ごして頂けるように対応しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席の配置に工夫しています。無理強いをしないように生活環境に取り組んでいます。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	御本人様が入居前に使用していた物をホームに持って来て頂き、愛直ある物と生活を共にして頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーや手摺りなど安全な環境に配慮しています。		

2021年度

事業所名：ちいさな手花咲く街横浜こすがや

作成日： 2022年 2月 24日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害に備えての地域住民との協力体制の構築と災害用備品リストの定期的な見直しについて検討していく。	近隣住民への挨拶活動と災害時に対応出来るように普段からの備品リストを確認し、いざと言う時に対応出来るよう普段からの準備を徹底する。	コロナウィルスの状況を見て、近隣に挨拶回りを行っていき当ホームの事、ホームの場所を知って頂ける活動を行っていく。備品リストの確認は2～3ヶ月に一回のペースでチェックを行い対応する。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月